

## 6 スターチス・シヌアータ

### 1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積) <sup>(1)</sup>
試験区(1区当り)		10株(4株)	3.15m <sup>2</sup> (1.26m <sup>2</sup> )
調査対象 (1区当り)	生育調査等	10株(4株)	3.15m <sup>2</sup> (1.26m <sup>2</sup> )
	収量調査等	10株(4株)	3.15m <sup>2</sup> (1.26m <sup>2</sup> )

(1) 栽植密度を床幅80cm、通路60cm、株間45cm、条間40cm、2条植え、a当たり318株としたときの面積

### 2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
種子系	播種期	播種をした日	A	観察	月日	1
	発芽良否	発芽の揃い、発芽勢(極良)5～(極不良)1	B	観察	指数	0.1
定植期		定植をした日	A	観察	月日	1
定植時の苗質	葉数	展開葉の枚数	B	測定	枚	0.5
	葉身長	最長葉の長さ	C	測定	cm	0.1
	葉身幅	最長葉の幅	C	測定	cm	0.1
摘心本数		株養成時の摘心本数	B	測定	本	1
最終摘心日		株養成時の最終摘心日	A	観察	月日	1
採花始		採花株数が定植(抽台)株数の50%に達した日	A	観察	月日	1
採花期		採花株数が定植(抽台)株数の100%に達した日	A	観察	月日	1
採花終		採花打ち切り日	A	観察	月日	1
到花日数		定植日から採花期までの日数	A	算出	日	1
障害の種類と発生程度	病虫害、生理障害	重要なものについては障害の種類毎に調査する 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚	A	観察	指数	1

\* 採花時期(切り前):概ね全体の9割のガクが開いた時、但し花茎の下の部位から遅くに分枝したものは除く

\* 採花方法:株元で花茎を切り採花する

### 3 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
a当たり	採花本数	総採花数および50cm未満と以上採花本数	A	算出	百本	1
	旬別採花数	旬別採花本数	B	算出	百本	1
	規格別採花数	北海道切花統一出荷規格による	B	算出	百本	1
	階級別採花数	切り花長で<50cm、≥50、≥60、≥70cm・・・の10cm刻みで分級	B	算出	百本	1
株当たり採花数			A	算出	本	1
障害茎割合		50cm以上採花数中の(障害茎/正常茎)×100	C	算出	%	0.1
欠株率		(欠株数/定植株数)×100	B	算出	%	0.1
未抽台株		未抽台の株数	A	観察	株	1

### 4 採花期前後における切り花特性

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
切花長		切り花の基部から花の先端までの長さ	A	測定	cm	1
切花重		切り花の調製前の重さ	B	測定	g	0.1

草姿全体	調製重	切り花の調製後の重さ <sup>(2)</sup>	A	測定	g	0.1
	開花分枝数	切り花1本当たりのガクの開花した第1次分枝本数 <sup>(3)</sup>	A	測定	本	1
	未開花分枝数	同上、ガクの展開していない分枝数	A	測定	本	1
	下垂度	茎基部を支点ととしたときの花穂先端の下垂角度 1:<5度、2:<15度、3:≥15度	A	測定	指数	1
花	花色	主体となる地色、可能ならばJHSカラーチャートのコードNO.	A	観察		
	ガク色	主体となる地色、可能ならばJHSカラーチャートのコードNO.	A	観察		
	ブラシの形	ブラシの形の良否 5:極良、4:良、3:中、2:不良、1:極不良	A	観察	指数	1
茎	茎径	開花分枝の発生下位節間中央部の最大径	B	測定	mm	1
		5:極太、4:太、3:中、2:細、1:極細	B	観察	指数	1
	翼幅	開花分枝の発生下位節間中央部片側の最大翼幅	A	測定	mm	1
		5:極広、4:広、3:中、2:狭、1:極狭	B	観察	指数	1
日持ち性 <sup>(4)</sup>	日持ちの良否	3:良、2:中、1:不良または日数	C	観察 測定	(日)	1

\* 調整方法:ガクの展開していない分枝を取り除く

\* 分枝:2節以上ある1次分枝にガクの展開した小花序が着いているもの

日持ち性:室温(20℃)における調査

